



平成 17 年 9 月 22 日

各 位

横浜市西区みなとみらい 2 丁目 2 番 1 号
株式会社 システムプロ
代表取締役社長 逸 見 愛 親
(コード番号：2317 東証第二部)
問い合わせ先 取締役管理本部長 国分 靖 哲
電話番号 045(640)1401(代)
U R L <http://www.systempro.co.jp>

システムプロと三菱商事、共同出資にて 情報セキュリティ関連の合併会社の設立で基本合意

株式会社システムプロは、本日開催の取締役会において、三菱商事株式会社（以下、三菱商事）と両社出資による合併会社を設立し、共同で情報セキュリティ事業を行うことについて決議し、基本合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。両社は合併会社を通じて内部情報漏洩を防ぐソリューションを提供します。

記

1. 提携による合併会社設立の理由

当社は、ネットワーク・ソリューション事業において電子透かし応用開発、ネットワーク・セキュリティ構築支援等セキュリティ関連業務を行い、情報セキュリティ技術ノウハウを蓄積してきました。

内部情報漏洩リスクが広く認識されるようになり、電子媒体に対する安全性の確保が求められるなか、電子媒体全てに対して安全かつ便利な情報セキュリティ商品を単独で一から開発してマーケットに提供するには時間を要すため他社より大きく出遅れること、開発費用負担が大きいこと等の理由により、当社は既存の商品を改良する方向で、特に商品を有するパートナーとのアライアンスにより商品・サービスを提供し、内部情報漏洩防止に最適なソリューションを提供することを目指しておりました。

一方、三菱商事は長年、情報セキュリティ商品の開発を進めてきた結果、情報セキュリティ強化を実現できる電子媒体の暗号化、及び操作ログ取得ツールである『リエンクリプションネクスト』（以下、リエンクリプション）を既に保有しておりましたが、その企画、開発、提供、運用及び保守を技術的にサポートできる体制をなかなか構築できないことが拡販のネックになっており、技術的なサポートのできるパートナーを探しておりました。

そこで、三菱商事の保有する既存商品であるリエンクリプションと当社の情報セキュリティ技術を融合させることにより、リエンクリプションをさらに進化させた商品を開発し、その提供にあたっては、マーケットを熟知した三菱商事と組むことでマーケットの攻略を加速できると判断し、合併会社を設立することといたしました。

2. 合併会社設立の内容 設立する新会社の概要

商号	株式会社リエンクリプション・テクノロジーズ（仮称）
主な事業内容	情報セキュリティ商品の開発、販売、サポート
設立年月日	平成 17 年 10 月中旬（予定）
決算期	3 月
所在地	東京都港区浜松町 2 丁目 4 番 1 号

代表者の役職・氏名	代表取締役 山名修一
資本金	300 百万円 当社 105 百万円 (2,100 株、発行済株式総数の 35%)、三菱商事 195 百万円 (3,900 株、発行済株式総数の 65%) であります。
売上高	70 百万円 (平成 18 年 3 月期見込み) 228 百万円 (平成 19 年 3 月期見込み)
総資産	247 百万円 (平成 18 年 3 月期見込み) 216 百万円 (平成 19 年 3 月期見込み)

当社は、代表取締役副社長であり、新規事業を担当する三浦賢治を合併会社の取締役として就任させ、技術面を指揮するとともに合併会社に対して情報セキュリティ技術の提供を行う予定です。

三菱商事は、合併会社に対してリエンクリプション事業の営業譲渡、リエンクリプションの独占的利用許諾を行います。

3. 合併会社設立の相手先の概要

商号	三菱商事株式会社
主な事業内容	エネルギー、金属、機械、化学品、生活物資等多種多様な商品の国内・輸出・輸入および外国取引を行うほか、情報、金融、物流その他各種サービスの提供、国内外における事業投資
設立年月日	昭和 25 年 4 月 1 日
決算期	3 月
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目 6 番 3 号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小島順彦
資本金	1,267 億 05 百万円
従業員数	6,001 名 (平成 17 年 3 月 31 日現在)
売上高	17 兆 1,327 億 04 百万円 (平成 17 年 3 月期連結)
総資産	9 兆 1,499 億 38 百万円 (平成 17 年 3 月期連結)
当社との関係	資本的関係、人的関係、取引関係はありません。

4. 日程

- 平成 17 年 9 月 22 日 取締役会決議
- 平成 17 年 9 月 22 日 合併事業契約書締結
- 平成 17 年 10 月中旬 会社設立 (予定)
- 平成 17 年 10 月中旬 営業開始 (予定)

5. 今後の業績に与える見通し

今回の業務提携及び企業化による当社業績に与える影響は軽微であります。

ご参考<リエンクリプションの特徴と情報セキュリティマーケットについて>

リエンクリプションは「ユーザーの全員が善人であるとは限らない」という性悪説を前提とし、従来では手の届かなかった「情報がユーザーへ渡ったその後」の情報フローの管理までを可能とする高度なセキュリティを実現するシステムであり、情報管理者にとって「情報漏洩の完封」という理想的なソリューションを提供しますが、ユーザーにとっては特別な意識を持つ必要がなく、これまで通りの操作でシステムを使う事ができます。

従来のセキュリティソリューションにおいても内部漏洩防止をうたったものは多くありますが、そのいずれもが「正規ユーザーのモラルを信頼する」性善説を前提としており、いったん正規ユーザーが情報を入手した後に発生する内部漏洩問題を解決する術はありませんでした。

リエンクリプションはまさに企業の保有する機密情報や個人情報などを情報漏洩から守る画期的な商品なのです。

平成 17 年 4 月 1 日より個人情報保護法が完全施行され、情報セキュリティに対する意識は確実に変化しております。平成 19 年には「情報セキュリティ関連製品提供」市場で 1 兆 809 億円、「情報セキュリティサービス」市場で 6,764 億円など、情報セキュリティビジネス市場全体で 1 兆 9,290 億円に達するとの総務省予測（平成 15 年度版「総務省情報通信白書」より）があります。現時点では内部情報漏洩防止ソリューションでデファクトスタンダードとなっているものはありません。

以上